

とっもろう便り



NO.9

2024 年 8 月発行

特定非営利活動法人とっもろう



ホームで演奏していただいた「マンチャグラス」さんと
(石垣白保の方言で“混ぜ合わせる”という意味だそうです。)



入居者皆さんの似顔絵
Tシャツ！

大川看護師が描いて
お揃いで作りました。

皆さんのお気に入り
です。

「日常」の大切さを再認識した一年でした

コロナ禍には職員の感染、また入居者様が通所先のバスの中や活動室で感染される事もありました。

その度に入居者様が通われている5か所の通所先への連絡や、特に、コロナ感染者が拡大傾向にあった時期には、ホームで感染者が出ると感染されていない方も通所先に行けず、ほとんど全員が日中もホームで過ごす事がありました。

普段活発な入居者の方が個室から出ようとされた時、支援員の様子を何うようにされお部屋へ戻られたという事があり、支援員も「本当に切なく複雑な思いだった。」と後に話していました。

職員は、訪問医や看護師の指導の下、クラスターが起らぬよう感染者の隔離、個々に食事を摂っていただくようにして、重度の障害をお持ちの皆様に細心の注意を払いつつ対応しました。

新型コロナウイルスも5類になり、今年度は感染対策を万全にしながら、地域交流を目的とした行事を行い、開所以降初めて、入居者様全員での公共交通機関を使った外出を行いました。

また、今年度は9月に「ボランティア講座」を計画しており、入居者様と共に積極的に地域交流を行い、広くグループホームとっもろうを知っていただきたいと思います。詳細はホームページをご覧ください。

最後になりましたが、当法人は補助金や助成金、寄付金や会費等のご協力が無ければ運営が成り立ちません。

東京都、練馬区、並びにご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。

理事長 浅石 道夫

地域交流を行いました

グループホームとうもろろの地域交流の場として「とうもろろ祭」を2023年11月に行いました。

今年度はコロナも5類に落ち着いた影響もあって、とうもろろ祭の目的を「近隣の方々との交流を深める」に決め、進めました。午前・午後に分かれ、午前は玄関兼駐車スペースでマーケットを開催し、職員、入居者様ご家族からのご寄付・とうもろろで保管していた物品等を、地域の方々含めいらっしゃった方々とお話しながら、入居者様と共に販売しました。

午後はケセラーズというアーティストをお呼びし、音楽会を開催して気持ちのいい音楽に耳を傾け、終わりに向かうにつれて曲調も変わり、皆さんで「さんぽ」の大合唱で締めくくることができました。その後のプレイクタイムでは保護者様から頂いたサーターアンダギーを頬張りながら、この一年の振り返りと残り1ヶ月どう過ごそうか、と和気あいあいに話をして今年も無事に終わることができました。

楽しい行事を開催しました

夏まつり



とうもろろ祭



クリスマス会



新年会



節分



「ハリーポッタースタジオツアー東京」へ行きました



2024年3月2日、みつばち倶楽部様の支援金を活用したグループホーム開設後初の外出支援をハリーポッタースタジオツアーで行いました。

入居者様8名と支援員12名の総勢20名で、入居者様2名～3名と支援員3名～4名の3グループに分かれて、活動しました。

ホームを出発する時から初めてのことに入居者様も支援員も少し緊張しましたが、富士見台駅から豊島園駅まで楽しく電車に乗ることができました。

スタジオに到着してすぐに集合写真を撮影して、いざ、ツアーに出発！

9と4分の3番線の入り口で写真撮影をしたり、魔法のほうきに乗っての撮影を体験したり、バタービールを飲んで口ひげを付けてみたり、美味しい昼食を食べたり、最後にお土産を買って、2時間半と短い時間ではありましたが、ハリーポッターの世界を体験してきました。

施設側と事前打ち合わせをしていたので、横になれる場所を用意していただくなど、スタッフの皆さん周知し対応してくださり、とても助かりました。感謝いたします。

当日は入居者様にとっても、支援員にとっても貴重な体験となりました。



電動車椅子サッカー大会に出場されました！



とうもろうに入居されている荒 美匡さんは、電動車椅子サッカーチーム、横浜レッドスピリッツのゴールキーパーとして活躍されています。

神奈川県電動車椅子サッカー協会に所属され、学校やスポーツセンターなどで電動車椅子サッカーの普及活動にも積極的に参加されています。

横浜レッドスピリッツは関東NO.1 横浜クラッカーズと同じクラブチームに属しています。

今後のご活躍に大いに期待しています。

みんなで、応援しましょう！

ありがとうございました

azbil みつばち倶楽部様からの支援金で、「ハリーポッタースタジオツアー」への外出支援事業に使用させていただきました。



みずほ福祉助成財団様から社会福祉助成金をいただきました。

非常時用ソーラーパネル付き充電器を購入いたしました。



公益信託 障害者愛の福祉基金による助成金をいただき、昇降機能付きベッドを購入させていただきました。

応急処置訓練を行っています

2年に1回、応急処置訓練を行っています。

2023年9月には、応急処置の実践訓練を中心に実施しました。

応急処置訓練については心肺蘇生法（1次救命処置）と窒息の解除をメディックファーストエイドのケアプラス（乳児～成人）教材に基づき、国際ライセンスを受けられる形での講習を行った上で、とうもろろうの状況に合わせたシミュレーションを用いた講習を実施しています。

今回は心肺蘇生法の実技とともに、窒息について重点的に講習を行いました。窒息という「餅」で詰まらせるイメージがあると思いますが、それ以外にもパン、リンゴやトマトなどでも窒息事故が起こっています。とうもろろうでも食事は提供されており、刻むなど個々にあった工夫をしていますが、例えばいつもと何か違う状況などに気を取られ、ふいに飲み込んでしまうなどの事もあります。どのような状況で、いつ事故がおこるのかはわからず、緊急事態は予測できません。そのため、緊急事態が起こらない方が良いですが、緊急事態が起こったときに技術が使えないのでは命にかかわってしまいます。

今回、参加してくださった支援員の方々は、自分たちの支援している状況を思い浮かべながら真剣に取り組んでいました。忘れがちな技術ではありますが、定期的な研修により、すべての人が安心、安全に過ごせるようにしていくことが大切であると感じています。

看護アドバイザー 穴戸路佳

防災関係について

- 入居者様が安全かつ迅速に避難できるよう避難訓練を行っています。
- 公益財団法人みずほ助成財団様より助成金をいただき、ソーラーパネル付き充電器を備える事ができました。非常時における医療的ケアが必要な入居者様の対応やその他必要な機器などの、シミュレーションを行い、もしもの際に備えていきます。



編集後記

とうもろろう便り第9号をご覧いただき、ありがとうございました。

昨年度は外出支援などの行事もでき、紙面にも賑わいを感じ、うれしく思いました。

次号も入居者様のたくさんの笑顔をお届けしたいと思っています。



～賛助会員募集・ご寄付のお願い～

私たちの活動は皆様のお力添えによって支えられています。

医療的ケアに対応するため、夜間も含めての看護師体制を維持していくには、私たちの力だけでは不十分です。

当法人の目的にご賛同していただき、活動を支援してくださる賛助会員及びご寄付を募集しております。

是非温かいご支援をお願い申し上げます。

◆お申込み：ホームページから書式をダウンロードし、メールまたはFAXにて事務局までお送りください。

賛助会員 入会金 3,000 円 年会費 2,000 円

職員大募集！

私たちと一緒に入居者様の笑顔を支え、共に楽しさと喜びを分かち合う仲間を募集しています。

NPO 法人とうもろろう
ホームページ



発行：特定非営利活動法人とうもろろう

〒176-0021

東京都練馬区貫井3-45-12

TEL03-5936-6100 FAX 03-5936-6101

<http://www.npo-tomorrow.com/>